

5 沖縄森林管理署の転出入職員

(1) 沖縄署から異動した職員より（近況報告）

「ラオスで頑張っています」

ラオス JICAプロジェクト チーフアドバイザー(元署長) 平沼孝太



平成20年4月から平成22年11月まで、沖縄県、関係市町村、首里城古事の森育成協議会、竹富町議会森林・林業活性化議員連盟、国有林モニターの皆様には、格別のご指導を賜り誠にありがとうございました。

学校、エコツアー、イベント関係等、まだまだ書ききれないほど多くの方々にお世話になり、改めて地域の皆様のご支援・ご協力を頂きながら仕事をさせていただいていたことを認識する次第です。

ラオスは中国、ベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマーの5カ国に囲まれた熱帯に位置する内陸国ですが、気温は沖縄より少し暑い程度で、街のいたるところにマンゴーが植えられているほか、泡盛の源流ともいわれるラオラーオというお酒もあり、色々な機会に沖縄のことが思い出されます。

ラオスでは国民の多くが森林に依存して暮らしていますが、様々な要因により減少・劣化が進んでおり、ラオス政府は、その対策を国家の最重要課題の1つと位置づけ、温暖化対策を含めあらゆる方策を検討し取り組んでいます。JICAの専門家として、少しでもラオスの森林保全に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えています。

「元気で頑張っています」

九州森林管理局計画課 課付（元流域管理調整官） 遠山 勝

沖縄の皆さん、大変お世話になり有り難うございました。

九州森林管理局計画課課付として8月1日付けの辞令を頂き過日着任しました。元気で頑張っています。

沖縄では、西表ふれセン（2年8ヶ月）、沖縄署（1年8ヶ月）通算4年4ヶ月という長い期間を楽



しく過ごさせて頂きました。

エメラルド色の海、サンゴ礁の熱帯魚、マングローブ林、西表島横断、亜熱帯の花々、古事の森、ダム祭りなどイベント、そして夜の・・・「島の人よ」の絶唱……。今でも思い出しては涙ぐんでいます。

さて、私はこれまで、対馬の「ツシマヤマネコ」、西表島の「イリオモテヤマネコ」、やんばるの「ヤンバルクイナ」、環境省出向時に屋久島永田浜の「アカウミガメ・アオウミガメ」、鹿児島県蘭牟田池の「ベッコウトンボ」と色々な希少動物の保護に係る業務に携わってきましたが、計画課では、私の干支である「卯」（アマミノクロウサギ）の保護（森林生態系保護地域設定）を担当するという大変嬉しい仕事に就かせて頂きました。世界自然遺産登録に向け「最後のご奉公」頑張ります。

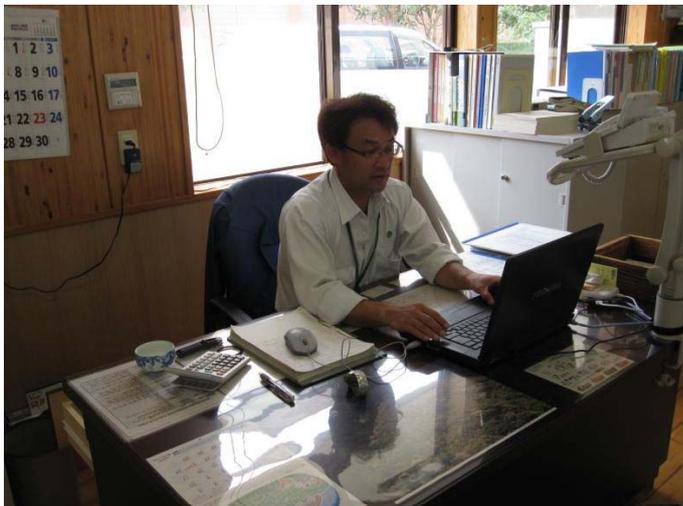
※追伸

沖縄島を離れ暮らす 島の人よ 覚えてますか 沖縄島の大自然
島の人よ またいつの日か 祭 咲かせてみようじゃないか
島の人よ いついつまでも 生まれ島を忘れないで……………。

「新たな業務で頑張ってます」

指導普及課 生態系管理指導官 宮崎署駐在

（元業務課長） 古川 浩児



早いもので、沖縄署から宮崎署に転勤して半年が過ぎようとしています。職場が変わり住居が変わり生活環境が随分違いますが、以前宮崎署に勤務していたこともあり楽しい職場で過ごしています。また、宿舎も前回と同じであり単身生活でも不安を感じることなく過ごしています。

通常業務は綾の照葉樹林プロジェクト関連業務と測定業務・土石販売を担当しておりますが、生産事業や造林事業の検査用務もさせて頂いております。

また、フォレスター制度導入に向けた准フォレスター研修にも参加させて頂いており2週間の集合研修は終了しましたが、引き続き通信研修が実施されるようです。准フォレスター間の交流も始めており、宮崎署において共同施業団地の設定に向け宮崎県職員の方との研修会等での交流を行っております。沖縄署での多岐にわたる経験が現在の業務に役立っており、ご指導頂いた皆様方に今更ながら感謝しております。

出張の際に美しい海や希少野生動植物に出会う機会はほとんどなく、スギ・ヒノキ林での間伐や皆伐地をみながら沖縄を懐かしく感じつつハブがないことを喜びつつ現場業務を行っています。野外活動は回数こそ減りましたがオリオンをキリンにタイ米を芋に代えて地鶏やメヒカリなどをつまみに宮崎の夜をそこそ楽しんでいます。宮崎の夏は沖縄ほどの強い日差しはないものの、昼夜を問わずうんざりするほどの酷暑続きでしたが、九月の台風通過と共に涼しくなり快食・快眠が出来ました。

最後に、不安やさびしさによるドキドキ感から始まった沖縄での勤務でしたが、沖縄県、関係市町村の皆様方のご協力をいただいたことや沖縄での生活はいろんな意味で成長させて頂いたと感じています。沖縄の皆様には心より感謝申し上げます。

「宮崎県の都城におります」

宮崎森林管理署都城支署 技術専門官（元総務係長）祐野誠治



4月1日付けで宮崎森林管理署都城支署に配置換えになりました祐野です。

沖縄森林管理署在勤中は、大変お世話になりました。ありがとうございます。

宮崎県内の森林管理署は初めての勤務ですが、新規採用が当時の出水営林署でしたので約28年ぶりの南九州です。連休に帰省した際に出水市内を通り、営林署と寮の跡地に立ち寄りました。この日は天草経由でフェリーを2回乗り継いでの帰省でした。

当支署について簡単に紹介します。管内の面積は4万2千 ha で、人工林面積は約2万6千 ha です。人工林資源が充実しており、森林整備・保育間伐（活用型）が積極的に実施されています。また、霧島山系の新燃岳は今年1月26日に大噴火して以来、火山活動が続いており現在は小康状態ですが火口から半径3kmの入山規制が継続中で、気象台は噴火による空振や噴石、降灰に注意を呼びかけています。

また、都城市は盆地状の地形特有の気候で夏季以外は朝晩が冷え込む等、この温度変化に慣れるまでしばらくかかりそうです。特に今年の間ドックで要治療科目が1つ増えましたので早期に治療し、体調管理に留意して職務に専念する所存です。

今年の沖縄は、台風の襲来が多く、例年に増して大変な状況だったと拝察します。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りし近況報告と致します。

「引き続きお世話になります」

九州森林管理局 国有林野管理 課財産管理係（元管理係長） 歌野 博幸



平成23年4月1日付けで、九州森林管理局 国有林野管理課に異動となりました。沖縄森林管理署在勤中は、国有林の土地部門を担当していたことから、特に関係市町村役場の皆様には大変お世話になりました。

2年間と短い期間でしたが、沖縄では色々な体験もでき、夜の部も含めて大変楽しく過ごすことができました。

私は局勤務が初めてでしたので、赴任してしばらくは戸惑ってばかりでしたが、ようやく慣れてきたところです。国有林野管理課での仕事は、財産管理係で主に地籍、測量、公有林野等官行造林関係の事務を担当しており、沖縄の業務にも数多く携わっておりますので、何らかの形でまた沖縄の皆様との繋がりがあり、うれしい限りです。

7月にはGPS測量のため、赴任以来3ヶ月ぶりに沖縄に行きましたが、懐かしいというよりは、長期出張から帰ってきたように感じました。沖縄署の協力を得て、仕事は順調に進み、夜は久々にオリオンビールと泡盛を美味しくいただき、馴染みのお店にも行くことができました。今後もよろしく願いいたします。

「沖縄に感謝」

大分森林管理署藤川内森林事務所森林官（元ふれあい係長） 田中優哉

はじめに、新社会人として初めて働いた場所である沖縄の皆様にご挨拶申し上げます。在勤中は、数え切れないほど多くの社会人としての基礎を1から教えていただき、大変お世話になりました。

近況ですが、現在の仕事は、一言で表すと「The 林業」です。大分と宮崎の県境に位置する国有林（約5000ha）で、基幹作業職員3名と日々、造林から収穫、林道整備、有害鳥獣捕獲など、まさしく林業そして森林官という仕事に奮闘しています。

はじめのうちは、沖縄の時と仕事内容も生活面も全く違うので、まるで新しい会社に就職したような気持ちでした。

しかし、今では生活にも慣れ集落の方から採れたての野菜や、事務所のある北川町の名産物（モクズガニ、アユ、ウナギ）を頂くなど、自然に恵まれた田舎生活を思う存分楽しんでおります。

これからも初心を忘れず、「謙虚に何事も積極的に頑張る」気持ちで仕事もプライベートも楽しんでいきたいと思っております。

